

行商で見つけた、 小さな地元の宝物



ふくしま はじめ人びと はじめ人

File No.10

株式会社おくや 代表取締役社長
会津豆倶楽部代表

まつさき けんたろう
松崎 健太郎さん(喜多方市)

<プロフィール>

平成9年創業。会津の物産を行商中、「豆」に着目。ピーナッツ商品は「ふくしまおいしい大賞2012」優秀賞を受賞。今年5月、東京のテレビで紹介されると通販サイトがパンクするほどの注文が入り話題に。

夢は社長 最初はがむしやらに

松崎さんはスパリゾートハワイアンズに勤務していましたが、父親の体調が悪く、急ぎよ地元へ戻ることになりました。就職先が決まらないことに思い悩んでいたそうです。「小学校の卒業アルバムをなにげなく見返したんです。そこに『社長になる！』って夢が書いてあったんですね(笑)。それを見た後、いても立ってもいられなくて。とにかく『仕事ください』って言いながら『なんでもやります！』社長 松崎 健太郎『っていう名刺を配り歩きました。そのうち醤油配達や草刈りなどご用聞きの仕事ももらえるようになったんです」

「農家さんのおつきあいが増えていくと、豆を仕入れることが増えました。本格的に豆専門店をやるうと決心したのは創業して8年目のころでした」

『なぜ豆屋をやっているのか』

「『やみくもに行商しているだけではないけない』と福島県中小企業家同友会に入会して、経営指針を創る

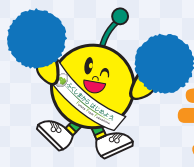
会に参加しました。ある参加者に『なんで、会津で豆屋をやっているの』と聞かれて、『家族にご飯を食べさせるためです』と答えたんです。そして、『お客さまは松崎くんの生活のためじゃなくて、豆がおいしいから買ってくれるんじゃない？』と。その言葉を聞いて愕然(がげん)としました。豆を何年も扱ってきたて答えられなかったことにとっても悔しさを感じたからです。今では、『会津には良い土・水があり、なにより良い農家さんが沢山いる。それらを残すために豆屋をやっている』とシンプルに答えられます。昭和50年代、会津には広大な落花生畑があったそうです。今でも続いていたら、千葉県を上回るピーナッツの名産地になっていたかもしれないですよね」

小さな豆を 大きく成長させて

「平成22年に会津豆倶楽部を立ち上げて、今では120人の農家さんたちと落花生の契約栽培をしています。買い



会津豆倶楽部の皆さん



ぼくの // わたしの // チャレンジ自慢

県内の頑張っている児童・生徒の活動を応援します！

県立修明高等学校 棚倉笑店(棚倉町)

「空き店舗が増えて閑散とした状況を変えたい」「町に元気を届けたい」という思いで昨年からはスタート。農業科の農作物や製造加工品の販売のほか、商業科では全国の高校生が開発した商品を仕入れ・販売。地域活性化のため活動しています。



左: 社長こと高橋 涼さん(商業科3年)
右: 副社長こと松本 一希さん(商業科3年)



学びから実践へ

買いやすい陳列方法など、学校で学んだことを実践しながら、お客さまの立場で考えています。開店前はいつも行列ができますが、当初は混雑を予想できずお客さまにご迷惑をおかけしました。今は表計算でレジシステムを作成し、ラベルごとに計算するので会計がスムーズです。仕入れは在庫を出さないようにするのが難しく、全員で意見を出し合い、協力して取り組んでいます。(高橋さん)



地域の声とともに

農業科で生産した新鮮な卵やパウンドケーキを販売していますが、開店後すぐ売れます。「修明高校の商品はどれもおいしいね」と、お客さまから直接喜びの声を聞いてうれしいです。現在、製業者の方や農業科と協力して、特産のブルーベリーを使ったレトルトカレーとドレッシングを開発しています。今後も地域の皆さんと協力しながら、感謝の気持ちを忘れずに続けていきたいです。(松本さん)



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.



ふくしまおいしい大賞 2012
スイーツ部門 優秀賞 受賞

会津産
うまピーみそがらめ
300円(税込)

毎朝渋皮ごとペーストしている
新鮮味わい濃厚ソフトクリーム。

会津喜多方ロイヤル
ピーナッツソフトクリーム
350円(税込)



ポリフェノールたっぷり!



おくやピーナッツ工場 ☎0241 (23) 7630
住所/喜多方市字天満前8930
営業時間/午前10時〜午後6時 休日/元旦

おくやピーナッツ工場

検索

※福島県内の道の駅、高速道路のサービスエリアでも一部商品の取り扱いあり。

取り価格を一定にするため、加工品の製造・販売も行うようになりました」
軌道に乗り始めたころ、震災に直面。30人が栽培を断念したそうです。それでも、あきらめずやってみようと協力してくれる農家さんと栽培を継続しました。検査を二重にし、安全が確認できると、県外からも商品購入希望が寄せられ、人の温かさに感謝しきれない思いだったそうです。

「県外の皆さんとのつながりを大切に、小さな豆から始まった事業を地元と一緒に成長させて、多くの消費者に広めていけたらと思っています。収穫した落花生は障がい者施設の皆さんが丁寧に手剥きしています。昨年は会津養護学校から従業員を採用しました。今後も障がい者雇用に力を入れていきたいです」
「行商時代があるから今があるんだなど。100年後もこの事業を受け継ぐ仕組みを作ることが今後の夢です」



障がい者施設の皆さんで手剥き

あなたの周りの「チャレンジ」を大募集!!

頑張っている児童・生徒の皆さんをご紹介します。自薦・他薦を問わず、「チャレンジしていること」「活動報告」を募集します。学校・学年・クラス・部活動・サークル単位の応募はもちろん、個人の立候補も大歓迎。ふるってご応募ください。

応募方法 郵便はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号・活動内容を記入の上、ご応募ください。採用の方には、後日ご連絡の上、取材にお伺いします。

郵送先 〒960-8670 県庁 広報課「チャレンジ自慢」係
個人情報、記事や取材などにのみ使用いたします。



Eメール・ファクスもOK!
16ページをご覧ください。